

(別紙様式5)

北海道防災教育アドバイザー プロフィールカード

令和2年9月14日現在

(1) 氏名 又は 団体名	命を守る大切さを語りつなぐ 三浦 浩	
(2) 職業	奥尻島地震津波体験の紙芝居での啓蒙活動、知的障がい者施設 生活支援員	
(3) 防災教育分野に係る資格又は職歴	元消防吏員(18年) 現在は栗山消防団員(3年)、防災士、防災介助士 認知症介助士、サービス介助士、介護福祉士、潜水土、地域防災マスター 水上バイク免許、小型船舶操縦士1級、消防設備士(消火器) 消防設備点検資格者(1種、2種)、危険物取扱者(乙4) 英検準2級、カイロプラクター初級	
(4) 対応可能分野 ※該当に○印	ア) 地域の自然災害リスクや過去の被災経験の解説 (該当に○印) 地震・津波災害(○) 気象災害() 火山災害()	
	イ) メディア等による災害情報の活用	
	ウ) 減災対策	○
	エ) 避難所運営	
	オ) 避難所運営ゲーム北海道版(Doはぐ)等の教材活用	
	カ) 防災訓練のシナリオや防災研修の企画立案等	
	キ) 避難計画や災害時事業計画等	
ク) その他 ※具体的分野 (実体験から命を守る理由を説く) 日頃の心の準備→災害時の初動体制→本当に安全な場所への避難 それらがあつての避難所生活(感染予防、対策)	○	
(5) 講演や指導、助言 できる具体的内容	実体験紙芝居「あの坂へいそげ」を活用します。 地震、津波からの避難は、豪雨による川の氾濫からの避難に直結します。 噴火で山からの泥流が流れてくる場合にも同じ事が言えます。 海岸沿いや内陸問わず、できる限り短時間に高い所に避難困難な命と一緒に 避難する事、離れた場所にいる時はそれぞれの場所から、迷わずまっすぐ避難する。 つまり、東北教訓の「命てんでんこ、津波てんでんこ、あの坂へいそげ」を伝えます。 また、自殺が多い昨今、何があっても人生の波にも流されない心の状態を 実体験から伝え、思い留める方向の一助となるよう語ります。	
(6) 最近の活動内容 ※講演実施や取組支 援、テレビ出演等	保育園、幼稚園で紙芝居「あの坂へいそげ」「いのちのやくそく」披露 八雲町野田生中学校での一日防災学校講話(2020.9.1) 大樹町教育の日 防災講話(2020.10.6) 過去の主な防災講話(斜里、網走、厚岸、浜中、三石、えりも、恵庭、函館、 初山別、芦別、上富良野、釧路、広尾、栗山、南幌、湧別、札幌、岩見沢、 旭川など) 岩見沢FMハマナス 市民制作番組「虹色カフェ」パーソナリティー 平成30年度 社会貢献賞 防災功労者	